

# 平成27年度事業計画

## 基本理念

### 『共に生き、共に育み、安心して暮らせる福祉社会を目指して』

本会は、「共に生き、共に育み、安心して暮らせる福祉社会を目指して」の基本理念に基づき、高齢者や障がい者が、安心して生活できる地域づくり、若い世代が安心して子育てできる環境づくりなど、士別で生活するすべての市民が自立し、幸福な生活が送れるよう、住民主役の社会福祉活動を推進します。

## 事業方針

現在、我が国において、急速な少子高齢化・核家族化の進行などを要因に、地域や家族連帯感の希薄化による、社会の変化多様化等に伴い、従来の制度では対応しづらい国民の生活困窮、孤立化、虐待、及び認知症高齢者の増加とその財産や権利の侵害など、様々な問題が生じています。

また、近年全国的に自然災害が多発しており、この救援にあたっては、災害時はもとより、平常時の人と人とのつながりが、いかに大切であるかが、クローズアップされました。

これらのことから、家族や地域の絆・つながりについて、改めて考えると同時に、地域全体の連帯感を深め、支え合い助け合いによる福祉増進が、重要且つ急務となっています。

こうした状況下において、社会福祉協議会は、社会福祉法でその地域福祉を推進する、「公共性」と「民間性」を併せ持つ中核団体として位置づけられており、その果たす役割はますます大きなものとなっています。

このため当会は、こうした役割を踏まえ、多くの市民の意見を基に策定した、平成26年度から30年度までの「みんなでふれあい 支えあう つなごう地域の力」を基本目標とする、「第2期士別市地域福祉実践計画」を指針とし、高齢者や障がい者等の個々のニーズに即応した、利用者本位の介護保険事業等、福祉サービスの提供に努めます。

また、行政をはじめ自治会や、ボランティア、事業所等、地域で活動する多くの団体と連携を密にし、地域支えあいを中心とする、小地域ネットワークづくり事業等、各種の福祉事業に取り組むとともに、その基盤となる社協組織の維持安定化に努め、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる、福祉のまちづくりを推進します。

## 事業計画

### 1. 全戸会員制の充実

社会福祉事業の組織的活動の促進と、地域福祉の推進を図るため、社協の全戸会員制を目指し、各自治会にご理解とご協力を頂いております。

今後さらに、自治会未加入世帯に対して自治会連合会と連携し、会員加入の促進に努めます。

### 2. 社協組織・財政基盤の強化

今日、士別市においても共に生き、共に支えあう地域福祉活動が、非常に重要視されています。

こうした活動は社協が果たす役割であり、この活動をさらに推進していくためには、社協組織の維持強化と、財政基盤の確立が大きな課題となっています。

このため、組織強化につきましては、先ず、主体的且つ的確な判断運営を行う役員体制の強化を図ります。

また、事務局職員体制につきましても、士別市の援助協力を受けながら、少子高齢化社会や介護保険制度等に対応すべく、総合相談、支援活動の中核的機能を十分に果たせるよう、そのためのマネージメント、及び専門的技術・知識を有する職員体制整備に努めます。

特にこのための、道社協等主催の役職員向け研修会、講習会に積極的に参加することと併せ、社協独自の研修会を計画的に開催し、役職員の資質向上を図るとともに、福利厚生整備など、職員の働きやすい職場環境づくりを進めます。

さらに積み立てている、社会福祉基金・財政調整積立金・介護保険財政調整積立金については、社会経済情勢の変化や災害時等の際に、安定的な福祉事業を推進するため、今後も基金、積立金の健全運用に努めます。

### 3. 広報広聴活動の充実

市民の社会福祉活動に対する理解と参加を得るため、さまざまな機会を通じ、その住民福祉活動についての情報提供に努めます。

また、社協事業について、各種の総会や会議、研修会、出前講座などでの周知の他、市内全戸配布の社協だより（年6回発行）の継続発行を図るとともに、ホームページによる迅速な情報発信に努めます。

さらに、第三者委員による士別市地域福祉実践計画策定懇談会や、市民の心配事相談窓口を設置し、市民の声の広聴活動に取り組めます。

## 4. 地域活動の強化

### (1) 支部活動の推進

市内の地区自治会連合会を単位とした支部（中央・上士別・多寄・温根別・朝日）活動は、市の支所及び出張所、並びに地区連合会の各自治会の協力によって各種事業が推進されています。

このような、住民が互いに創意と工夫を持ち寄り、助け合い支えあって暮らすことのできる福祉のまちづくりに対し、支援してまいります。

### (2) 小地域ネットワーク推進事業

自治会等の小地域を基盤とし、住民の参加と協力により地域の中で援護が必要な方々の生活を見守るとともに、隣人同士の支えあい活動を推進し、地域全体をつなぐネットワーク活動へと発展することを目的として取り組みます。

### (3) 士別市地域支え合いサロン開催モデル事業の推進 [士別市受託事業]

高齢になっても住み慣れた地域で、近隣や地域との交流を図り、孤立することなく健康で安心安全な生活ができるよう、自治会（市民）が主体となつての茶話会・お食事会等のサロン事業について士別市より委託を受け、そのコーディネート、及び事業拡大等の取り組みを推進します。

### (4) 災害に強い地域づくりの推進

まさかの坂はどこにでもあります。そのまさかの時にどう対応できるか地域力が問われるところです。日頃から、支援が必要な方々の見守りや、地域ぐるみでの防減災活動を推進します。

## 5. 在宅福祉サービス事業の推進

住民の生活をめぐる社会情勢はますます複雑多様化し、特に急速に進む高齢社会に対応する在宅福祉の推進は大きな課題となっておりますことから、次の事業を推進します。

### (1) 入浴介護事業（施設入浴） [士別市受託事業]

桜丘デイサービスセンターの特殊浴槽を使用し、身体障がい者（児）の入浴を支援しながら、介護保険事業で対応不可能な方々への施設入浴に努めます。

### (2) 福祉パトロール事業 [士別市受託事業]

日常生活を送るうえで不安のある高齢者単身世帯等を対象に、民生委員及び地域住民が連携して、家庭訪問・電話連絡等による相談、安否確認を行う「福祉パトロール事業」を推進します。

### (3) 士別市桜丘荘特定施設入居者生活介護ホームヘルパー派遣事業 [士別市受託事業]

要介護者が徐々に増加している養護老人ホームにおいて、介護保険サービスの一つである外部サービス利用型を選択し、ホームヘルパーの派遣を委託されたものであり、士別市と連携のもと効果的な運営に努めます。

#### (4) 士別市在宅介護支援センター運営事業 [士別市受託事業]

市内に3ヶ所開設されている、総合相談窓口の1ヶ所を受託運営しており、社協本来の機能を十分に発揮します。

また、士別市地域包括支援センターと連携を図りながら、介護教室や権利擁護事業など、積極的に取り組んでいきます。

#### (5) 移送サービス事業 [士別市受託事業]

平成4年度より、在宅の虚弱老人等の方々が医療機関に通院する際の介助と交通手段を確保する「移送サービス事業」について、士別市並びに関係機関と連携を密にしながら積極的に取り組みます。

#### (6) 権利擁護事業（日常生活自立支援事業・成年後見制度の取り組み）

認知症高齢者、知的障がい者や精神障がい者などの意志決定や意思表示の困難な在宅者に対し、福祉サービス利用の援助や代行、日常的な金銭管理などの地域生活支援サービスを提供するもので、士別・和寒・剣淵・幌加内の4社協の共同事業として推進します。

また、施設入所契約、財産管理等の成年後見制度について社協として、法人後見事業の実施などに取り組み、市民が安心して生活できるよう権利擁護に努めます。

#### (7) いきいきデイサービス事業 [士別市受託事業]

要介護認定により自立と判定された方、及び要介護認定を受けなくても、何らかの社会的支援が必要な方に対して、介護予防的なことから健康で生きがいのある老後を支える目的で、自立支援サービス判定基準に合致する対象者に対し、この事業を推進します。

#### (8) 関係機関等との連携強化

地域福祉の総合的機能的サービスを確立するため、士別市地域ケア会議・北海道ホームヘルパー協会・市町村社協強化検討会、他関係機関への参画を含め、より一層連携を深めます。

また、医療・保険・福祉のネットワークの確立、福祉ニーズの把握と援助活動のための地域内ネットワークの確立に向けても、自治会単位の福祉研修会などの機会に積極的に地域に出かけ、一層の連携強化に努めます。

### 6. 介護保険事業の実施

介護保険事業としてケアプランの作成機関となる指定居宅介護支援事業者、また、保険サービスとなるホームヘルプ事業・訪問入浴事業を指定居宅サービス事業者として運営規定等を遵守しながら、質の向上と信頼される事業者となるよう努めます。

#### (1) 指定居宅介護支援事業所

○士別市社協居宅介護支援事業所

#### (2) 指定居宅サービス事業所

○士別市社協ヘルパーステーション

○士別市社協訪問入浴事業所

## 7. 障がい者総合支援（障がい者福祉～身障・知的・児童・精神・難病）事業の実施

平成25年度より障害者自立支援法から、障害者総合支援法になったところであり、当会としても引き続き日常生活及び社会生活の支援等、障がい者福祉の更なる拡充を目指します。

### (1) 指定居宅介護サービス事業所

○土別市社協ヘルパーステーション（身障・知的・児童・精神・難病）

## 8. ボランティア活動の推進

### (1) 土別市ボランティアセンター事業の推進

福祉のまちづくりを進めるボランティア活動は、土別市ボランティアセンターが中心となり、ボランティアの養成やまちづくりの集い等の事業に取り組むとともに、その情報提供及び個人ボランティア登録等、いつでも、どこでも、誰でも、ボランティア活動に参加できる体制整備に努め、地域における福祉コミュニティの形成を図ります。

### (2) 学童生徒のボランティア活動普及事業の推進

小・中・高等学校の児童・生徒を対象に、福祉教育・学習の機会を提供し、体験・交流活動等を推進することにより、社会福祉への理解と関心を深め、福祉のこころ・ボランティア精神を養うことを目的として、生徒数20人以上の小中学校、高等学校は1校5万円、生徒数20人未満の小中学校は1校3万円を助成し、活動の推進を図ります。

また、教員の理解・協力を得るためボランティア指定校担当者会議（年2回）を引き続き実施します。

### (3) 土別市福祉ボランティアのまちづくり事業

「共に支えあう地域社会づくり」の推進を目指し、次に掲げる事業を各関係団体と連携を保ちながら、青少年にあっては体験活動を主に開催するとともに、より一層全市的なボランティア活動の普及定着に努めます。

- |                              |      |
|------------------------------|------|
| ア、平成27年度土別市民ボランティアスクール（3回）   | [継続] |
| イ、子どもの心を育む福祉教育推進事業（講師派遣事業）   | [継続] |
| ウ、第26回土別市福祉教育懇談会             | [継続] |
| エ、第21回土別市中学生・高校生ワークキャンプ      | [継続] |
| オ、ボランティア指定校担当者会議（2回）         | [継続] |
| カ、土曜ボランティア学習塾「さぼてん」（毎月第2土曜日） | [継続] |
| キ、第37回住民福祉活動を進めるつどい          | [継続] |
| ク、第4回ボランティア研修交流会             | [継続] |
| ケ、声の図書貸出事業                   | [継続] |
| コ、使用済み切手、リングプル、エコキャップ等の収集活動  | [継続] |
| サ、布オムツ配布事業                   | [継続] |
| シ、出前講座の実施                    | [継続] |

## 9. ノーマライゼーション事業の推進

### (1) 「ふれあい広場'15 in しべつPART3 2の開催」

障がいのある人もない人も、共に地域社会の中で支えあって生きていく「ノーマライゼーション」の考え方を普及し、定着することを目的として、7月4日（土）・5日（日）に開催し、住民の深い理解と協力のもと事業の展開を図ります。

### (2) 福祉の店「シュペツ」運営

心身に障がいをもつ人の自立と、社会参加を目指して平成9年に開設し、作業所等の作品販売を通し、障がいをもった方々の働く場の確保、及び地域住民との交流拡大、更に市民への啓蒙普及に取り組んでおり、引き続き関係機関との連携を密にし、事業の推進を図ります。

## 10. 士別市受託事業

### (1) 士別市総合福祉センター受託事業（昭和54年7月）

士別市総合福祉センターは指定管理制度に基づき管理運営を受託し、老人クラブの交流会や高齢者のレクリエーション活動等の拠点施設として、センターの有効活用を図りながら、利用者の福祉向上に努めます。

### (2) 士別市多世代スポーツ交流館受託事業（平成7年1月）

士別市多世代スポーツ交流館は指定管理制度に基づき管理運営を受託し、交流館の有効活用を図りながら、市民の心身の健康と福祉の増進に努めます。

### (3) サポートセンターしべつ受託事業（平成13年11月）

サポートセンターしべつの適切な管理運営を受託するとともに、本年度に施設修繕を実施し、センターの有効活用を図りながら利用者の福祉向上に努めます。

### (4) 福祉パトロール受託事業（昭和46年4月）

### (5) 施設入浴受託事業（昭和54年4月）

### (6) 士別市在宅介護支援センター運営受託事業（平成11年7月）

### (7) 移送サービス受託事業（平成12年4月）

### (8) 要介護認定調査受託事業（平成12年4月）

### (9) いきいきデイサービス受託事業（平成12年5月）

### (10) 士別市桜丘荘特定施設入居者生活介護ホームヘルパー派遣事業（平成21年4月）

### (11) 士別市障がい者移動支援事業（平成23年2月）

## 1 1. その他主な活動

- ①生活支援活動（心配ごと相談所運営事業等）
- ②生活福祉資金貸付事業
- ③苦情解決委員会の活動
- ④共同募金事業（赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動）
- ⑤日本赤十字社事業
- ⑥その他必要な事業

## ※ 平成27年度 強化事業

- ①権利擁護事業 [継続]  
（日常生活自立支援事業・成年後見制度の取組）
  
- ②土別市地域支え合いサロン開催モデル事業 [新規]